

燕市産業史料館で「第45回 燕手仕事展」を開催

— 通水 100 周年にちなんだテーマを設けた作品も展示します —

燕市産業史料館では、6月3日から「第45回 燕手仕事展」を開催します。

今回の企画展は、燕の伝統的な金属加工技術の鋸起銅器をはじめ、彫金技術、キセル製造技術など、日本でも類を見ない産業文化を一覧できる内容となっています。また、燕産地を守った大河津分水通水 100 周年を記念して、「水・流れ」をテーマにした作品も併せて展示します。

【第45回 燕手仕事展】の概要

- 1.会 期：6月3日（金）～7月10日（日）
※休館日：月曜日
- 2.時 間：午前9時～午後4時30分
- 3.会 場：燕市産業史料館 企画展示室
- 4.内 容：①伝統的な金属加工技術を持った熟練の職人をはじめ、新進気鋭の若手が手掛けた作品
②大河津分水通水 100 周年を記念した「水・流れ」をテーマとした作品
- 5.展示数：約 30 点
- 6.入館料：大人 400 円、小・中・高校生 100 円
※市内小中学生と付き添いの保護者 1 名は、ミュージアムパスポート持参で入館無料
- 7.その他：作品解説会を 6 月 12 日（日）午後 2 時から開催します

